

トラノコ・ファンド I

愛称：小トラ KO-TORA



追加型投信／内外／資産複合

第2期

決算日：2019年3月20日

作成対象期間

2018年3月21日～2019年3月20日

第2期末（2019年3月20日）	
基準価額	10,147円
純資産総額	17百万円
騰落率	1.4%
分配金合計	0円

(注) 以下本書において、騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

(注) 以下本書において、純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「トラノコ・ファンド I 愛称：小トラ」は2019年3月20日に第2期決算を行いました。

当ファンドは、様々な資産クラスに対して分散投資を行い、リスクを抑えることを重視した最適ポートフォリオを構築することにより、安定したリターンの獲得を目指した運用を行っています。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

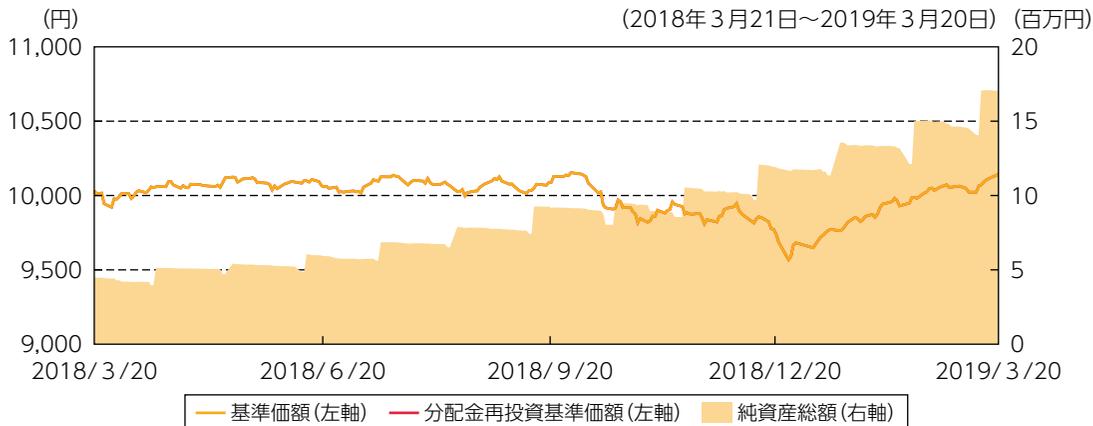
- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しています。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めています。弊社ホームページの「ファンド情報」において閲覧およびダウンロードすることができます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される場合は、販売会社までお問い合わせください。

TORANOTEC
ASSET MANAGEMENT



運用経過

期中の基準価額等の推移



第2期首：10,010円

第2期末：10,147円 (既払分配金0円)

騰落率： 1.4% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

「基準価額」って？

ファンドの値段のことを基準価額といいます。また取引を行う際の単位があり、それを「口(くち)」と呼びます。1口=1円からスタートし、その後、運用の成果により変動します。当ファンドを含む多くのファンドは1万口当たりの基準価額を公表しています。

基準価額の主な変動要因

当ファンドの当期末基準価額は10,147円、期首から+137円となりました。米国を中心とする貿易摩擦等で関係国経済の先行き不安から輸出の多い日本の株式ETFが値下がりしましたが、米国株式ETF自体は値上がりしました。また、世界的に金融緩和の継続もしくは債券への資金回帰を見込んだ動きが拡がって主要国債券ETFや出遅れ感のあった日本REITが値上がりしたことなどから、結果的にプラスとなりました。

(上昇要因)

- ・ 主要国債券ETFの値上がり：世界的な金融緩和（金利引下げ）が続き、債券への資金回帰を見込んだ動きが拡がりました。
- ・ 米国株式ETFの値上がり：米中貿易摩擦問題の激化を受けて値下がりする場面もありましたが、金融引締め（金利引上げ）が停止されたことが好感されました。
- ・ 日本REITの値上がり：海外REITの値上がりに出遅れていた日本REITが、割安感から海外投資家に買われました。

(下落要因)

- ・ 日本株式ETFの値下がり：貿易摩擦など関係国経済の先行不安で、貿易への依存度が高い日本の株式ETFが売られました。

1万口当たりの費用明細

(2018年3月21日～2019年3月20日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	円 32 (27) (-) (5)	% 0.324 (0.270) (-) (0.054)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、9,995円です。 ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、基準価額の算出、運用報告書等各種書類の作成等の対価 運用報告書等各種書類の交付、取引口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 ファンド財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 (投資信託証券)	19 (19)	0.192 (0.192)	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.000 (0.000)	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用等)	62 (51) (11)	0.624 (0.515) (0.109)	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、弁護士費用、法定提出書類の作成等に要する費用
合計	113	1.140	

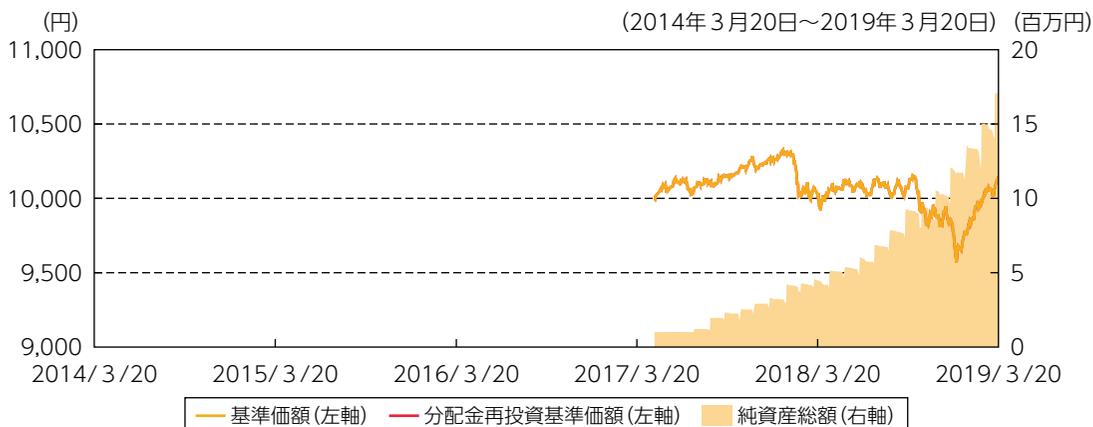
(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

最近5年間の基準価額等の推移



(注) 当ファンドは運用期間が5年未満のため設定来の推移を表示しております。

(注) 当ファンドの目的・特色に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数との対比グラフは表示してありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

決算日		2017年4月24日 設定日	2018年3月20日 決算日	2019年3月20日 決算日
基準価額	(円)	10,000	10,010	10,147
期間分配金合計 (税込)	(円)	—	0	0
分配金再投資騰落率	(%)	—	0.1	1.4
純資産総額	(百万円)	1	4	17

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2018年3月20日の騰落率は設定当初との比較です。

投資環境

(2018年3月21日～2019年3月20日)

<株式市場>

トランプ大統領が貿易赤字解消のために起こした「貿易摩擦」と、「米国の金融引締め（金利の引上げ）」に左右される一年でした。例えば、米国と他国の貿易交渉が順調な月や、米連邦準備制度理事会（F R B）が金融引締めの停止を明言した月などは、主要株式市場も値上がりしましたが、金利引上げのあった10月と米中貿易摩擦問題が激しさを増した12月には大幅に値下がりしました。前期末に比べて、米国市場は上昇、欧州市場は横ばい、日本市場は下落となりました。

<債券市場>

米連邦準備制度理事会（F R B）が2018年に金利の引上げを4回行ったため、米国債券は年後半まで価格が下がり続け、その他の主要国債券も安い水準で横ばいとなりました。しかし、貿易摩擦問題が深刻になり、世界経済の先行きが不安になると債券価格はじりじりと上昇（金利は低下）し始め、F R Bの金融引締めの停止でさらに大幅に債券価格は値上がりしました。結局、一年を通じて主要国債券は概して値上がりしました。

<REIT市場>

米国の長期金利が上昇すると不動産購入のための借入れコストが上昇するうえ、利回りの観点からREITに投資する妙味が低減することから、2018年中、先進国REITは徐々に値下がりしました。しかし、2019年に入ってF R Bの金融引締め停止が明確になってからはREIT投資への回帰が活発になり、結果的にほぼ変わらずのところまで価格が回復して期を終えました。その中で、他国のREITに比べて出遅れ感のあった日本のREITは、外国人投資家の買いを集め、期間を通じて値上がりしました。

<商品市場>

2018年はF R Bが継続的に金利の引上げを行ったため、金利を生まない金にとって不利な状況となったことから金は値下がりしました。しかし、貿易摩擦問題が深刻化し、政治不安が高まると金価格は値上がり、F R Bの金融引締め停止の決定を受けてさらに大きく値上がりしました。その結果、年間ではほぼ変わらずのところまで回復しました。

<為替市場>

2018年はF R Bが継続的に金利の引上げを行ったため、ドルが円に対して高くなる傾向が見られ、一時は期初から7円程度のドル高＝円安となりました。しかし、金利引上げが進むにつれてドルは円に対して横ばいの動きへと移行し、さらにF R Bの金融引締めが停止される予想が強まると、ドルは円に対して安くなりました。結果的に3円程度のドル高＝円安に留まりました。

当ファンドの運用経過と結果

(2018年3月21日～2019年3月20日)

当ファンドは、トラノコ・マザーファンド I を通じて、世界各国の上場投資信託証券 (ETF) 等に投資しました。値段の振れ幅 (リスク・リターン) に特に注目して運用されるこのマザーファンドは、大トラや中トラのマザーファンドに比べてリスクを抑えるように計算されたモデルポートフォリオに従って運用されています。

また、為替リスクに関しては、米ドル建ての実質的外貨建て資産に対して、期中に複数回ヘッジ比率の増減調整を行いました。ヘッジ部分は為替変動リスクが低減されますが、期末現在、ヘッジ比率は89.6%です。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2018年3月21日～2019年3月20日)

当ファンドの目的・特色に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。従って、当ファンドとベンチマークおよび参考指数との対比グラフは表示しておりません。

分配金

(2018年3月21日～2019年3月20日)

直近の市況動向等から複利効果を最大限に享受していただくことが最善であると判断し、当期は分配を見合わせました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税引前)

	第2期
	2018年3月21日～2019年3月20日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	258

(注) 対基準価額比率は当期分配金 (税込み) の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

主として「トラノコ・マザーファンド I」に投資し、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

トラノコ・マザーファンド I

引き続き、運用の基本方針に従い、リスクを抑えることを重視した最適ポートフォリオを構築することにより、安定したリターンの獲得を目指した運用を行います。

お知らせ

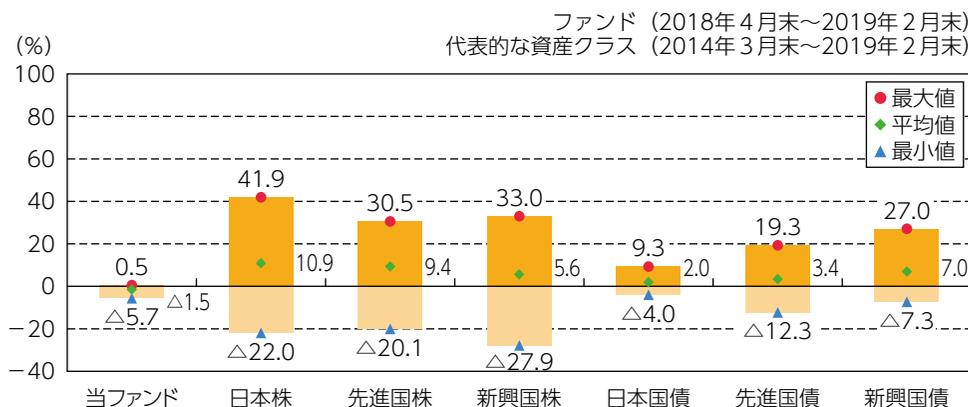
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限
運用方針	<p>◆ファンドは、マザーファンドの受益証券への投資を通じて、実質的に世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）される上場投資信託証券（以下「ETF」といいます。）および上場指標連動証券（以下「ETN」といいます。）に投資することにより、主として国内外の株式、債券、不動産投資信託（REIT）、コモディティ、金利等に投資します。</p> <p>◆マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。</p> <p>◆マザーファンドにおいて、原則として、米ドル建ての実質的外貨建資産に対して50%～100%の範囲で、適時、対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。</p> <p>◆外国為替予約取引は、ヘッジ目的に限定します。</p>
主要投資対象	親投資信託である「トラノコ・マザーファンド I」
運用方法	<p>①マザーファンドの受益証券への投資を通じて、実質的に世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）される上場投資信託証券（以下「ETF」といいます。）および上場指標連動証券（以下「ETN」といいます。）に投資することにより、主として国内外の株式、債券、不動産投資信託（REIT）、コモディティ、金利等に投資します。</p> <p>②マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。</p> <p>③マザーファンドにおいて、原則として、米ドル建ての実質的外貨建資産に対して50%～100%の範囲で、適時、対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。</p> <p>④資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合もあります。</p>
分配方針	<p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②分配金額は、委託会社が、信託財産の成長に資することを目的に、上記①の範囲内で、基準価額水準、市況動向等を勘案し決定します。従って、必ず分配を行うものではありません。</p> <p>③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>

(参考情報)

当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注) 上記グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注) 全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

(注) 上記グラフは、上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値について表示したものです。なお、ファンドと代表的な資産クラスのデータの期間が異なりますので、ご留意ください。

出所：Bloombergのデータを基にTORANOTEC投信投資顧問（株）が作成。

<各資産クラスの指数>

日本株……東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…ダウ・ジョーンズ先進国市場インデックス（円ベース）

新興国株…ダウ・ジョーンズ新興国市場インデックス（円ベース）

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…FTSE新興国市場ドル建てソブリン債券インデックス（円ベース）

●東証株価指数（TOPIX）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの指数値及びそこに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではありません。東京証券取引所はTOPIXの算出もしくは公表方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

●ダウ・ジョーンズ先進国市場インデックスとは、S & P ダウ・ジョーンズ・インデックスが開発した株価指数で、世界の先進国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、S & P ダウ・ジョーンズ・インデックスに帰属します。

●ダウ・ジョーンズ新興国市場インデックスとは、S & P ダウ・ジョーンズ・インデックスが開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、S & P ダウ・ジョーンズ・インデックスに帰属します。

●NOMURA-BPI国債とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、国債の他、地方債、政府保証債、金融債、事業債および円建外債等で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA-BPI国債は野村證券株式会社の知的財産であり、ファンドの運用成果に関し、野村證券株式会社は一切関係ありません。同指数の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。

●FTSE世界国債インデックスとは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

●FTSE新興国市場ドル建てソブリン債券インデックスとは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2019年3月20日現在)

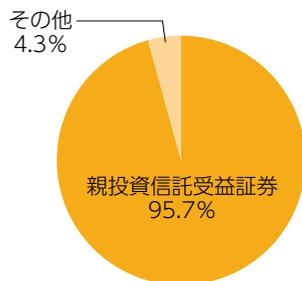
組入ファンド

	銘柄名	組入比率
1	トラノコ・マザーファンド I	95.7%
組入銘柄数		1銘柄

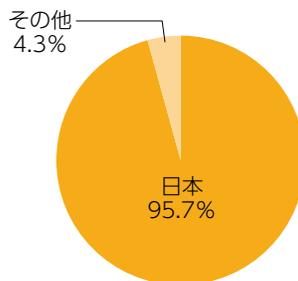
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入ファンドに関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。

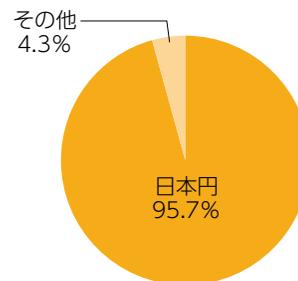
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

(注) その他は、日本円による現金、コール・ローン等を示します。

純資産等

項目	第2期末
	2019年3月20日
純資産総額	17,058,350円
受益権総口数	16,810,589口
1万口当り基準価額	10,147円

(注) 当期中における追加設定元本額は21,764,667円、同解約元本額は9,428,719円です。

組入上位ファンドの概要

トラノコ・マザーファンド I



【1万口当たりの費用明細】

項目	当期	
	2018/3/21	2019/3/20
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	20円 (20)	0.196% (0.196)
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (.0)	0.000 (0.000)
(c) その他費用 (保管費用)	53 (53)	0.526 (0.526)
合計	73	0.722
期中の平均基準価額	10,057円	

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。
 (注) 上記項目の概要につきましては3ページを参照ください。

【為替ヘッジ比率】

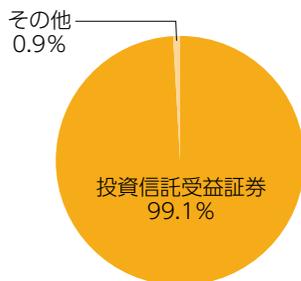
比率 (対米ドル建資産)	89.6%
--------------	-------

【組入上位10ファンド】

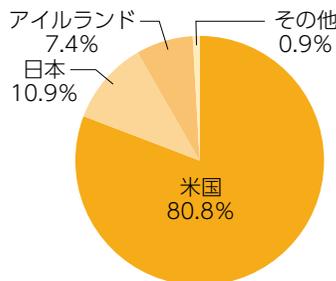
	銘柄名	投資対象資産	通貨	国(地域)	比率(%)
1	VANGUARD TOTAL INTL BOND ETF	債券	米ドル	全世界	19.7
2	Vanguard Short-Term Corporate Bond ETF	債券	米ドル	米国	19.7
3	VANGUARD S&P 500 ETF	株式	米ドル	米国	11.8
4	ISHARES CORE U.S. AGGREGATE	債券	米ドル	米国	9.4
5	SCHWAB U.S. TIPS ETF	債券	米ドル	米国	8.6
6	VANGUARD FTSE DEVELOP EUROPE UCITS ETF	株式	ユーロ	欧州	7.3
7	ISHARES JP MORGAN USD EMERGI	債券	米ドル	新興国	6.6
8	TOP I X 連動型上場投資信託	株式	日本円	日本	6.5
9	ISHARES GOLD TRUST	コモディティ	米ドル	米国	4.9
10	NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	REIT	日本円	日本	4.4
組入ファンド数		10銘柄			

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報については、運用報告書(全体版)に記載しています。
 (注) 国(地域)については発行国もしくは投資国を表示しています。

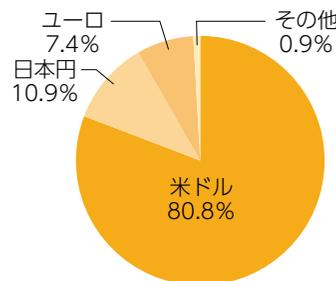
資産別配分



国別配分



通貨別配分

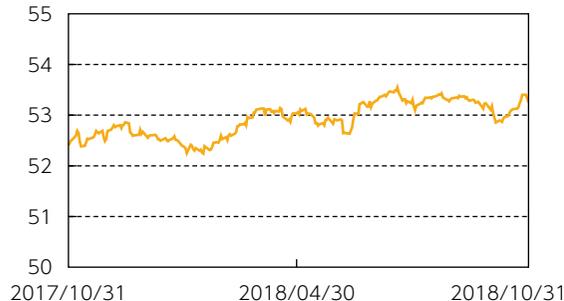


(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分については発行国を表示しています。
 ※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明、組入銘柄に関する詳細な情報等は運用報告書(全体版)をご参照ください。

<ご参考> Vanguard Total International Bond Index Fund

※Vanguard Inc.作成のANNUAL REPORTを基に、TORANOTEC投信投資顧問（株）が作成しています。

【1口当たりの純資産価額の推移】（2017年10月31日～2018年10月31日）
 (米ドル)



【費用比率】
 (2017年11月1日～2018年10月31日)

項目	比率 (%)
エクスペンスレシオ	0.11

(注) エクスペンスレシオは、当期中の平均資産残高に対する運用その他の経費の比率を表示しています。

Fund Profile

As of October 31, 2018

Share-Class Characteristics

	Investor Shares	ETF Shares	Admiral Shares	Institutional Shares
Ticker Symbol	VTIBX	BNDX	VTABX	VTIFX
Expense Ratio ¹	0.13%	0.11%	0.11%	0.07%
30-Day SEC Yield	1.09%	1.13%	1.13%	1.15%

Financial Attributes

	Fund	Bloomberg Barclays GA ex-USD Float Adj RIC Capped Idx (USD Hedged)
Number of Bonds	5,261	9,939
Yield to Maturity (before expenses)	1.1%	1.2%
Average Coupon	2.0%	2.4%
Average Duration	7.7 years	7.8 years
Average Effective Maturity	9.2 years	9.3 years
Short-Term Reserves	0.1%	—

Sector Diversification (% of portfolio)

Asset-Backed	0.1%
Finance	5.7
Foreign	80.5
Industrial	6.6
Utilities	1.3
Other	5.8

The agency and mortgage-backed securities sectors may include issues from government-sponsored enterprises; such issues are generally not backed by the full faith and credit of the U.S. government.

Volatility Measures

	Bloomberg Barclays GA ex-USD Float Adj RIC Capped Idx (USD Hedged)
R-Squared	0.99
Beta	0.99

These measures show the degree and timing of the fund's fluctuations compared with the index over 36 months.

Distribution by Credit Quality (% of portfolio)

Aaa	22.4%
Aa	27.7
A	33.7
Baa	16.2

Credit-quality ratings are obtained from Barclays and are from Moody's, Fitch, and S&P. When ratings from all three agencies are used, the median rating is shown. When ratings from two of the agencies are used, the lower rating for each issue is shown. "Not Rated" is used to classify securities for which a rating is not available. For more information about these ratings, see the Glossary entry for Credit Quality.

Distribution by Effective Maturity (% of portfolio)

Under 1 Year	1.4%
1 - 3 Years	21.5
3 - 5 Years	19.3
5 - 10 Years	30.1
10 - 20 Years	16.0
20 - 30 Years	9.2
Over 30 Years	2.5

Market Diversification (% of portfolio)

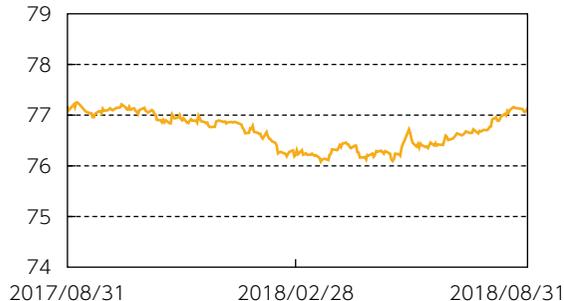
Europe	
France	12.1%
Germany	10.8
Italy	7.5
United Kingdom	7.5
Spain	5.5
Netherlands	2.9
Belgium	2.4
Switzerland	1.5
Austria	1.4
Sweden	1.4
Other	3.7
Subtotal	56.7%
Pacific	
Japan	20.2%
Australia	2.8
South Korea	2.8
Other	0.8
Subtotal	26.6%
Emerging Markets	
	3.7%
North America	
Canada	6.0%
United States	3.0
Subtotal	9.0%
Middle East	
	0.2%
Other	
	3.8%

¹ The expense ratios shown are from the prospectus dated February 23, 2018, and represent estimated costs for the current fiscal year. For the fiscal year ended October 31, 2018, the expense ratios were 0.13% for Investor Shares, 0.09% for ETF Shares, 0.11% for Admiral Shares, and 0.07% for Institutional Shares.

<ご参考> Vanguard Short-Term Corporate Bond Index Fund

※Vanguard Inc.作成のANNUAL REPORTを基に、TORANOTEC投信投資顧問（株）が作成しています。

【1口当たりの純資産価額の推移】（2017年8月31日～2018年8月31日）
 (米ドル)



【費用比率】

(2017年9月1日～2018年8月31日)

項目	比率 (%)
エクスペンスレシオ	0.07

(注) エクスペンスレシオは、当期中の平均資産残高に対する運用その他の経費の比率を表示しています。

Fund Profile

As of August 31, 2018

Share-Class Characteristics

	ETF Shares	Admiral Shares	Institutional Shares
Ticker Symbol	VCSH	VSCSX	VSTBX
Expense Ratio ¹	0.07%	0.07%	0.05%
30-Day SEC Yield	3.32%	3.32%	3.34%

Financial Attributes

	Bloomberg Barclays U.S. 1-5 Year Corporate Fund	Bloomberg Barclays U.S. Corporate Bond Index	Bloomberg Barclays U.S. Aggregate FA Index
Number of Bonds	2,214	2,185	10,038
Yield to Maturity (before expenses)	3.4%	3.4%	3.3%
Average Coupon	3.2%	3.3%	3.1%
Average Duration	2.8 years	2.8 years	6.1 years
Average Effective Maturity	3.0 years	3.0 years	8.4 years
Short-Term Reserves	0.2%	—	—

Sector Diversification (% of portfolio)

Finance	42.0%
Industrial	53.7
Utilities	4.2
Other	0.1

The agency and mortgage-backed securities sectors may include issues from government-sponsored enterprises; such issues are generally not backed by the full faith and credit of the U.S. government.

Volatility Measures

	Bloomberg Barclays U.S. 1-5 Year Corporate Bond Index	Bloomberg Barclays U.S. Aggregate FA Index
R-Squared	0.99	0.73
Beta	1.00	0.45

These measures show the degree and timing of the fund's fluctuations compared with the indexes over 36 months.

Distribution by Effective Maturity (% of portfolio)

Under 1 Year	0.2%
1 - 3 Years	52.5
3 - 5 Years	47.2
5 - 10 Years	0.1

Distribution by Credit Quality (% of portfolio)

Aaa	1.2%
Aa	12.8
A	42.9
Baa	43.1

Credit-quality ratings are obtained from Barclays and are from Moody's, Fitch, and S&P. When ratings from all three agencies are used, the median rating is shown. When ratings from two of the agencies are used, the lower rating for each issue is shown. "Not Rated" is used to classify securities for which a rating is not available. For more information about these ratings, see the Glossary entry for Credit Quality.

Investment Focus

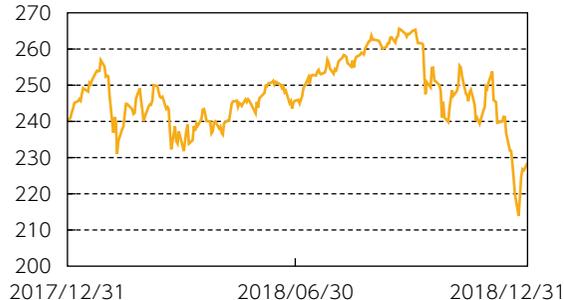
Average Maturity	Short	Med.	Long
Credit Quality	Treasury/ Agency		
	Investment-Grade Corporate		
	Below Investment-Grade		

¹ The expense ratios shown are from the prospectus dated December 21, 2017, and represent estimated costs for the current fiscal year. For the fiscal year ended August 31, 2018, the expense ratios were 0.07% for ETF Shares, 0.07% for Admiral Shares, and 0.05% for Institutional Shares.

<ご参考> Vanguard S&P 500 ETF

※Vanguard Inc.作成のANNUAL REPORTを基に、TORANOTEC投信投資顧問（株）が作成しています。

【1口当たりの純資産価額の推移】（2017年12月31日～2018年12月31日）
 (米ドル)



【費用比率】

(2018年1月1日～2018年12月31日)

項目	比率 (%)
エクスペンスレシオ	0.03

(注) エクスペンスレシオは、当期中の平均資産残高に対する運用その他の経費の比率を表示しています。

Sector Diversification

As of December 31, 2018

Communication Services	10,1%
Consumer Discretionary	9,9
Consumer Staples	7,4
Energy	5,3
Financials	13,4
Health Care	15,6
Industrials	9,2
Information Technology	20,1
Materials	2,7
Real Estate	3,0
Utilities	3,3

The table reflects the fund's equity exposure, based on its investments in stocks and stock index futures. Any holdings in short-term reserves are excluded. Sector categories are based on the Global Industry Classification Standard ("GICS"), except for the "Other" category (if applicable), which includes securities that have not been provided a GICS classification as of the effective reporting period.

TORANOTEC

ASSET MANAGEMENT